

共にしあわせ産みだす党 日本共産党

市議団ニュース

第1880号 2018年6月17日
日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL23-6023

2018年根室市議会6月定例会日程と一般質問の項目

根室市議会の6月議会の日程は、次の通りです。各会議は、根室市役所3階の本会議場または委員会室で開催されます。

6月19日(火) 10時～ 本会議 一般質問 6名 田塚議員・野潟議員・足立議員・久保田議員・鈴木・橋本
6月20日(水) 10時～ 本会議 一般質問 5名 工藤議員・滑川議員・久保議員・千葉議員・五十嵐議員 提出議案や補正予算の説明など
6月21日(木) 10時～ 総務常任委員会 (橋本が出席) 10時～ 文教厚生常任委員会 (鈴木委員長) 13時～ 産業経済常任委員会
6月22日(金) 10時～ 予算審査特別委員会 (橋本が出席予定) 17時～ 本会議 各委員長報告・採決 意見書案 など

日本共産党根室市議会議員団の一般質問の項目は以下の通りです。

6月19日(火) 5番目 鈴木 一彦

1. 領土問題について
 - (1) 日口首脳会談に対する認識と今後の方向性について
2. 「子どもの貧困」について
 - (1) 現状に対する認識について
 - (2) 今後の方向性について
3. 市立根室病院に関する諸問題について
 - (1) 医師確保について
 - (2) 地域医療の中核となる市立根室病院のあり方について

6月19日(火) 6番目 橋本 竜一

1. 「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」について
 - (1) いつまでも安心して住み続けられる地域社会をめざして
 - (2) 生活困窮者の住まいの安定に向けて
 - (3) 障がい者福祉の課題について
 - ① 市内のサービスの充実に向けて
 - ② 福祉避難所について
 - (4) 市水道料金の値上げの問題について
 - ① 料金の減免の状況と今後の方向性について
2. 地域交通の課題について
 - (1) 北海道交通政策総合指針について
 - (2) 生活交通の策定状況について
3. 市の財政について
 - (1) 経済財政運営と改革の基本方針(原案)と地方財政について
 - (2) 今後の市財政の運営について



JR北海道の路線見直しを考える ～歴史的視点から～



6月6日、市民団体の釧路革新懇話会が、「北海道の鉄道を考える」ための学習会を釧路市生涯学習センターで開催されました。釧路公立大学の宮下弘美教授が「JR北海道の鉄道見直しを考える～歴史的視点から」という演題の講演を行いました。

宮下教授は、戦前からの日本の鉄道政策がどのように進められてきたのかという視点で歴史を振り返りました。過去の国鉄の財政悪化の主な原因は1980年代のローカル線存在のようになっているが、実際には慢性的な輸送力不足に対処するため1965年の「第3次長期計画」における資金調達の方法の失策にあるという近年の研究などを報告されました。また歴史的にみても不十分であったが国民の税金が投入されてきた鉄道は国民の財産。政府は今後の長期的な交通政策の一環としての視点が欠如している。北海道の特殊性を考慮し、北海道を一つとした路線網の構築を議論すべき、などお話をされていました。

また特別報告として北の鉄道存続を求める会の小室事務局長さんが、道内の現状を報告。沿線自治体が廃止を承認した札沼線(北海道医療大学～新十津川)では、個々の路線協議が先行してしまい、沿線の自治体が同意せざるを得なくなった。

自分のところの路線が残りそうだから良い、ということ無く、オール北海道で取り組んでいく必要がある、と署名運動への取り組みを呼びかけました。

追い込んだ力は共闘

2018年6月11日
前衆議院議員
畠山和也



新潟県知事選は、池田ちかこ候補が大奮闘するも及ばず。北海道からの多くの支援も現地では大きな励ましになっていました。

私も2日間だけですが、新潟へ駆けつけました。池田候補への誹謗(ひぼう)・中傷や、出せないはずの宣伝カーを自民党が走らせていたとか、なりふり構わない安倍政権と自民・公明の姿がありました。市民と野党の共闘が、これだけ追いこんでいた証拠です。

日本共産党は、地方議員や支部・後援会のみなさんが元気に立ち上がっていました。そのカナメとなっていた新潟で唯一の党県議・渋谷明治さんは、声に張りもあって握手の力も強いうえ、階段も一段飛びでのぼるほどですが、なんと今年で80歳。暑い日が続くなか連日、夕方には事務所近くの交差点でプラスターを何十枚も並べ、メガホン宣伝にとりくむ渋谷県議の姿にジーンとききました。

市民との結びつきの強さは、市議を九期も務めてきたことからも証明済み。共闘候補が立て続けに勝利してきた新潟ですが、草の根でふんばる日本共産党の地方議員や支部があるからこそ力が発揮できたのだと確信しました。共闘は一夜にしてならず、なのです。

先日、全道地方議員・候補者会議が札幌市で開かれました。くらしや地域、平和をまもる地方議員が北海道各地にいます。来年の2つの選挙で、みんなそろって勝利して野党連合政権を！と思いが高ぶりました。私も元気に道内を、またまわります。